

事業計画名

在来種の有機和綿を活用した寝具類及び内衣類 (肌着・下着・ホームウェア)の開発・製造事業

事業計画概要

有機栽培によって国内生産された和綿の分別作業に係る原綿分別機を導入し、量的対応と品質管理を図り、アレルギー・化学物質過敏症疾患などの疾患を持つお客様のために、有機和綿を活用した寝具類及び内衣類の試作開発を行う。

株式会社 ハート

〒780-0073 高知県高知市北金田4-18
TEL: 088-882-4788 FAX: 088-882-4822
E-mail: heart@heart-kochi.jp
URL: http://www.heart-kochi.jp/
設立年月日: 1988年(昭和63年)8月1日
従業員数: 30名 資本金額: 1,000万円



代表取締役
山岡 俊文

企業概要

アレルギー、アトピー、化学物質過敏症などの疾患を持つお客様が安心して使える寝具類・タオル・アパレル等についてOEM生産を中心に有機和綿に徹底的にこだわった製品開発・製造を行っている。

事業取組みの経緯

当社は、昭和63年創業以来、化学物質過敏症などの疾患を持つお客様が安心して使える寝具類・タオル・アパレル等についてOEM生産を中心に製造してきた。現在主力商品であるオーガニック製品を製造・販売するため、3年余りの準備期間を費やし、平成17年に寝具として世界初の有機国際認証を取得した。

平成22年10月には高知県大豊町にオーガニック専用自社工場を稼働させ、国際基準の品質管理により、寝具類を中心としたオーガニックコットン製品の生産体制が整った。

しかし、収穫後の綿花には種や多くの不純物が含まれている。輸入綿は検疫の関係で不純物を除去した状態で輸入されるが、和綿は不純物が混在したまま納入されるため、分別の必要が生じる。特に綿の分別によって種を得る作業は翌年の綿花定植に必要な不可欠な工程である。和綿の分別を手作業で行うと原綿1kgで約250時間を必要とするが、分別機を導入すれば1時間と大幅な時間短縮が図れる。また、量的対応、品質の均一化及び原料加工時のトレーサビリティ管理(有機履歴)、コンタミネーションコントロール(汚染防止混入)等のコンプライアンスを遵守することにより、消費者からのアレルギー報告や取引先での検査によって生じた化学反応に対しても、原因(原産地を含む)を特定できる原材料の工程管理が構築できる。そのため、本事業で原綿分別機を導入することとした。



実施内容

①原料となる和綿の購入

予定収穫量を300kgと見込んでいたが、天候不良等により90kgとなったため。

②原綿分別機の設置

原綿の分別作業を効率化し、量的対応と品質の均一化及び原材料の工程管理を構築するため、原綿分別機を設置した。



原綿分別機

③和綿による試作品開発

和綿の素材特性である耐久性と吸水性そして通気性を兼ね備え、かつ着心地等の機能性を追求したテキスタイルの確立や、オシャレ感を演出するデザイン性を高めた試作品を製作予定であったが、原綿の収穫が十分でなくほとんどの試作品を断念した。

社内人材にて、アトピー用分野対策として、無農薬・無添加の洗えるコットン肌ふとん10点、敷パッド13点、和とじ敷きふとん3点、ペット用ふとん9点、枕9点など44点の試作開発を行った。

④品質表示印刷機の設置

当社が求める「本物のオーガニック製品につける品質表示」を徹底するため、家庭用品品質表示法に定められた専用印刷機を導入した。



品質表示機

⑤品質検査及び商品分析

これまで在来種の和綿に対しオーガニック認定の認証を受けた事例がなく、今般新たにオーガニック認定認証に向けた検査を実施し、市場における優位性を表示する予定であったが、和綿の収穫が少なく検査機関での品質検査及び商品分析はできなかった。

事業取組みの成果

日本は明治時代まで綿花を栽培し、紡績し、海外に販売していた。当社は、試行錯誤しながら綿花栽培の資料を集め、元農業技術センター職員の方に相談しながら和綿栽培・和綿確保の事業を進めてきた。本事業期間においては獣害や天候不良による発育不足などが原因で収穫予想を大きく下回った。そのため当初計画していた糸加工、和綿の製織、染色、肌着、下着、ホームウェアの開発、デザイナーの活用も断念したが、社内人材にて、アトピー用分野対策として、前述した44点の試作開発を行った。成果としては、オーガニック商品としての強度・耐久性・吸水性・保温性等について充足した商品の試作ができた。

一方、原綿分別機の導入により、原綿1kgを約2時間で分別することができた。当初予定の1時間からすると倍の分別時間を要する結果となったが、機械導入により分別作業の大幅な時間短縮が図られ、量的対応・品質管理の実現に向け目途が立った。

製品内容

アトピー用分野対策として、無農薬・無添加の洗えるコットン肌ふとん10点、敷パッド13点、和とじ敷きふとん3点、ペット用ふとん9点、枕9点など計44点。

徹底した一貫生産による100%有機和綿を原



3つの証明

本物のオーガニック製品であることを示すためには3つの証明が必要である。オーガニック製造・流通・販売認定証である「エコサート」、オーガニック製品の生産履歴を示す証明書「TRANSACTION CERTIFICATE」、本物のオーガニック製品についての品質表示でのお客様への証明書。これらを明示することで、お客様に偽りのない製品を提供している。

料とし、オーガニック製品証明書(生産履歴)、オーガニック製造・流通・販売認定証(証明証)である「エコサート」の認証を受けたことにより、有機分野の先進国である欧米諸国でも認められるトレーサビリティを実現した。

今後の活動予定

①原料の確保

和綿の収穫は、里山の生態系変化などの生育環境、天候等の自然環境に大きく左右されるため、一定量の安定的確保は難しい課題である。今後は同種の無農薬インド綿を混入しながら原料確保に努める。

②試作品の開発

化学物質過敏症の方には無農薬の綿、且つ無添加での加工が良いが、綿は洗えないという欠点がある。丈夫で自宅で洗うことができ、アトピーの肌にやさしい綿に仕上げることが課題である。自社のオーガニック専用工場や協力会社での一般製品を参考に、こだわった和綿+同種綿を加えた混合綿で、本事業ではできなかった内衣類やペット用品等の試作品を製造する予定である。

販売計画

当社は、既存の取引先として、複数の大手生協、共同購入会、自然食品店、百貨店、カタログ通販を有しており、有機和綿を活用した寝具類・内衣類の販路として有望市場であると考えている。

希少性の高い有機和綿の収穫量が限られるため、高級品として販売することが可能な販売先を優先していく計画であり、当社のブラッシュアップ商品としてブランド化を推進していく計画である。